

TSR - Press Release

2014年 サービスマネジメント市場を発表

2014年 サービスマネジメント市場規模は1,519億円、対前年比5.2%増

ユーザー企業は業務プロセスの見直しを開始

ITILとサービスマネジメントに再び注目を浴びる

株式会社 テクノ・システム・リサーチは『2014年版 サービスマネジメント市場のマーケティング分析』を発刊し、サービスマネジメントの市場規模を発表致しました。

※サービスマネジメントとは、情報システムの運用管理を行う運用管理ソフトウェアと、継続的改善やサービス思考を実現するためソフトウェア、サービスを指しています。

2014年のサービスマネジメントの市場規模は1,519億円、対前年比5.2%の増加となりました。Windows XPのサポート終了に関連した入れ替え需要の影響から、PC資産/PCセキュリティ管理分野が増加しました。また、仮想化の浸透に伴って仮想化管理分野とサービス分野(自動化管理など)も増加しています。

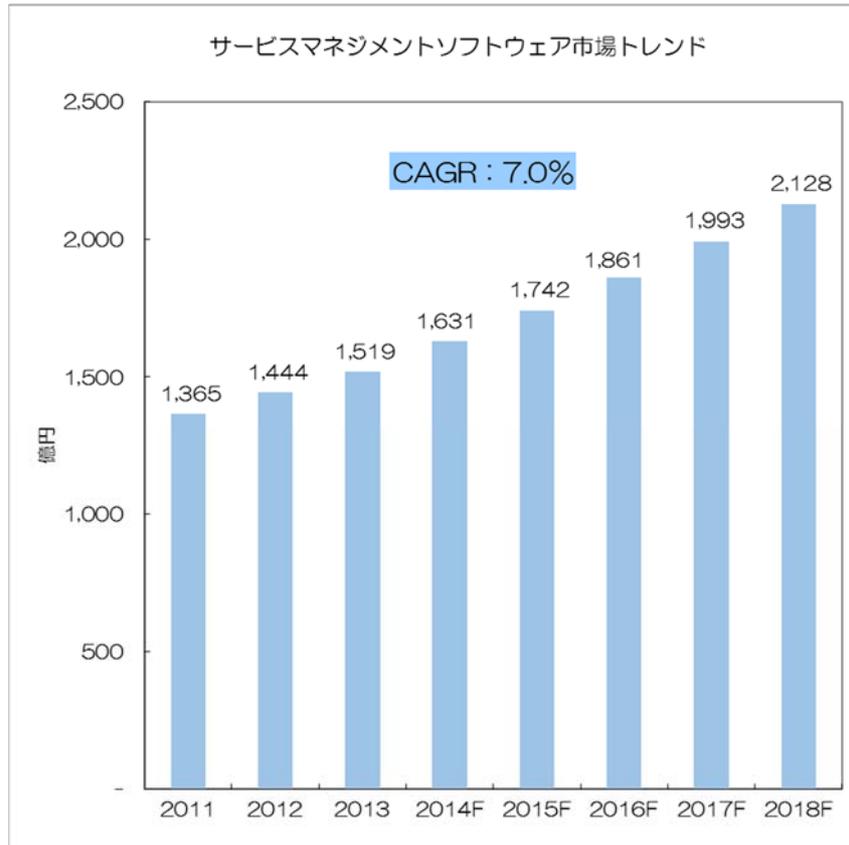
TSRでは今後サービスマネジメント市場は2018年にかけて年間平均成長率7.0%で推移していき2018年には市場規模が2,128億円に達すると予想しています。

ITILやサービスマネジメントが再び注目を浴びるようになった背景には、日本国内でITILがブームになった2005年～2006年当時にITILをしっかりと学んだ30～40代の情報システム部門の要員が現在は管理職となり、自社の管理体制を見直した時に大きな危機感を感じたことにあります。日々の管理業務自体はIAサーバなどオープン化が進んだことや管理ツールの機能も充実してきたことで問題なく行えているが、20代の若手要員は業務プロセスを理解していないために、よりプロアクティブな業務改善などの提案がでてこなくなりました。

このままでは、現在の50代の要員が退職してしまうと、どのように業務プロセスが組まれたのか、どう作られたのかがわからなくなってしまう懸念があります。そこで、抜本的に業務プロセスの見直しを行いながら、PDCAを回せる仕組みを取り入れたいと考え、それを実現するための概念としてITIL

とサービスマネジメントが再び注目を浴びるようになっていきます。

これらの動きに合わせて、今後はサービスデスク、構成変更、資産管理、自動化といったツールの市場が増加していく見込みとなっています。



【リリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

第1グループ 幕田範之 (makuta@t-s-r.co.jp) Tel: 03-3851-5651